

第3回吹田市市民自治推進委員会 会議録

1 日時

令和元年（2019年）11月7日（木）午後4時から午後4時30分まで

2 場所

吹田市役所 中層棟 4 階 全員協議会室

3 出席者

(1) 委員

石橋章市朗（委員長）、片上孝洋（副委員長）、櫻井和子、柳田康人、岡倫太郎、阪本ひとみ、
登るみ子

(2) 事務局

市民自治推進室 高木主幹、久保畠主査、山本係員

4 傍聴者

0名

5 議題

市民自治講演会を振り返って

6 会議の決定事項

これまでの議論や講演会を踏まえ、「吹田市市民参画の推進に関する指針」のダイジェスト版の作成についての考えやイメージを A4 用紙にまとめ、12月27日（金）までに事務局に送付する。

7 議事の要旨等

別紙「議事のまとめ」のとおり

8 次回の予定

(1) 日時 令和2年2月18日（火）午後6時30分から午後8時30分まで

(2) 場所 吹田市役所 高層棟4階 特別会議室

議事のまとめ

発言者	主な内容
委員長	それでは、委員会を始めます。本日の講演会をお聞きして何か感想等ありましたら御発言お願いします。
副委員長	学者の目線から言えば、法的にはこうだということで、共助と公助の境目はぼやけがちですが、やはり人同士のつながりが大事なんだということに気付いていただければと思います。
A 委員	吹田市の課題にどう取り組むか、市民間で議論する場があればいいと思いました。
B 委員	過疎化が進んでいる地域で、市民が声を上げて活性化する事例をテレビで見ました。百人委員会のような形で、自分はこうして欲しいと言える場があるそうです。そういった場があれば、それぞれ考えるようになると思いました。
C 委員	土山先生からありました「楽しいことで巻き込む」ということで、地域の中でいろいろやっている、普段見かけない年齢層が来られることがあります。それこそ、片上先生からありました「丁寧に説明する」ことで、地域の行事が全て市民自治につながっていることを、分かっていたいただければと思いました。
D 委員	自助、共助、公助という言葉を再認識しました。この言葉があると、自分が今取っている行動がこの部分に該当するということが分かりやすく、段取りがしやすくなりました。
E 委員	私の自治会でもそうですが、子どもが楽しいと思うことを、おじいちゃんが一生懸命想像しながら考えているという矛盾があります。直接聞けばいいのにと考えていますが、そういう簡単なことを地域ではできないでいます。自分も含めてもう一回考えないといけないと思いました。
委員長	ありがとうございました。次回から「吹田市市民参画の推進に関する指針」のダイジェスト版の作成に入りますが、まずは、皆さんの考えやイメージ、方向性を共有したいと思います。そこで、これまでの委員会での議論や本日の講演会を踏まえ、A4用紙1枚にまとめて、12月27日（金）までに事務局に御提出いただきたいと思います。時間になりましたので、最後に次回の日時を決めたいと思います。
	（日程調整）
委員長	調整の結果、令和2年2月18日（火）18時30分からとさせていただきます。それでは、本日の委員会を終わります。お疲れさまでした。

※ 発言の順にA委員、B委員、C委員…と表記しています（委員長、副委員長を除きます）。